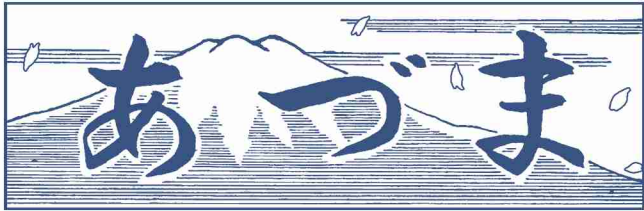


方面	方面システム通信合同訓練	(1面)
1師団	04JXR	(3面)
12旅団	旅団訓練検閲	(4面)
1施設団	總監初度視察	(5面)
関東補処	04JXR	(5面)



令和4年8月25日 第1051号

總監統率方針「強靱な東部方面隊の創造」
總監要望事項「克己」

陸上自衛隊東部方面隊広報紙
発行所：方面總監部広報室
住所：東京都練馬区大泉学園町
専用線：8-37-2446



通信確保要領を演練する参加隊員



通信構成を行うシ通群の隊員

通信確保能力を向上 方面システム通信合同訓練

方面隊は7月11日から14日までの間、朝霞駐屯地、久里浜駐屯地、相馬原駐屯地、勝田駐屯地等において、令和4年度第1回方面システム通信合同訓練を実施し、各種計画の実効性向上を図るとともに、通信確保に任ずる全隊員の識能の向上を図ることを狙った。本訓練は東部方面システム通信群長を担任官として第1師団、第12旅団、方面直轄部隊、通信教導

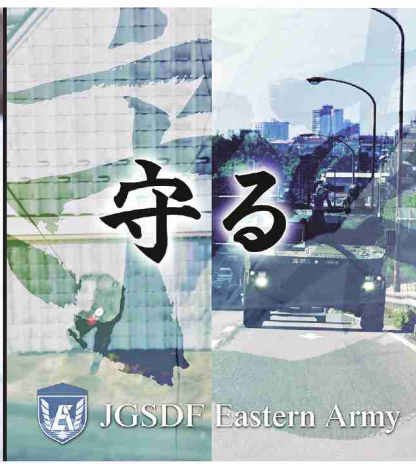


訓練参加者を激励する總監(左)

隊及び第302システム防護隊が参加し、実距離通信訓練(民間通信網を活用した通信)により師団、旅団及び通信教導隊との通信確保を演練、部隊通信所等訓練(朝霞駐屯地に各方面直轄部隊を参集して演練)、部外事業者との協同訓練(部外回線を活用して回線構築要領を演練)を行った。担任官は訓示において「近年の科学技術の発展は、さまざまな分野に波及し、経済、社会、ライフスタイルなど、多くの分野において革命とも呼ぶべき変化があり、軍事技術においてもその技術は活用されている。他方

システム通信の利便性が向上する反面、通信機材の操作・設定は複雑化している。それらに対応すべく、通信を構成する隊員は、高い識能及び技術が要求される。諸官は本訓練で必要な技能を学ぶことを深く認識し、何事にも正面から向き合い、訓練の全期間を通じて技能修得に励むとともに、ぜひ各部隊においてこの技術を活用及び普及してもらいたい」と述べた。また7月13日には總監による視察が実施され、訓練実施状況の把握と隊員への激励が行われた。訓練に参加した第301タンブ車両中隊塚本士長は「初めて本訓練に参加したが、自分の技量の再確認や新しい知識を得ることができた。これを機に通信についてさらに学び、部隊でも生かせるよう今後も通信技術の向上に努めていきたい」と語った。

力強さ・スピード感あふれる映像を配信中！



東部方面隊紹介映像を公開

東部方面隊は広報用映像を新たに作成し、東部方面隊の公式ホームページ・YouTubeチャンネル・ツイッター上で7月29日に公開した。

東部方面隊の特徴的な任務である「首都防衛」にスポットを当て、各部隊による真剣な訓練の様子や、活動する災害派遣の映像に合わせて迫力ある曲を使用し、力強さ及びスピード感あふれるよう編集されている。映像制作は東部方面システム通信群、BGMの編曲・演奏は東部方面音楽隊が担当した。東部方面隊渾身の1分38秒を、ぜひご堪能いただきたい。



東部方面隊紹介映像はここから



令和4年度前期定期表彰 37個部隊、個人57名の功績称える

方面隊は7月22日朝霞駐屯地において、方面隊

の隊務運営に寄与した部隊及び顕著な功績のあった隊員に対し、その功績を称えるとともに士気の高揚を図ることを目的として、令和4年度前期定期表彰を実施した。表彰式では業務隊等に対する表彰、隊員自主募集に対する表彰、予備自

業務隊等に対する部隊表彰
板室駐屯地業務隊
駒門駐屯地業務隊
【隊員自主募集に対する部隊表彰】
関東補給処富士燃料出張所

オピニオンリーダー等都内研修 市ヶ谷ツァー・法務シンポジウムに参加

東部方面隊オピニオンリーダー等19人は、7月5日・6日の両日、防衛省において市ヶ谷ツァーに参加し、大本営地下壕や市ヶ谷記念館等を研修した。記念館では元東部方面総監執務室の見学

駐屯地見学ツアー・サマーフェア開催 多彩なイベントを楽しむ

広報センターは7月9日に朝霞駐屯地見学ツアーを、7月23日にサマーフェアをそれぞれ実施した。朝霞駐屯地見学ツアーでは振武臺記念館及び振武臺碑、体育学校、女性自衛官教育隊、07式機動支援橋等の施設及び装備の見学や、隊員食堂での体験喫食等を案内した。中でも女性自衛官教育隊の見学においては女性隊員との懇談も行われ、特に女性参加者はその勤務状況に深い関心を示していた。また07式機動支援橋見学では、実際に車両や徒歩による通過体験を実施し、参加者は予想以上の強度に大変驚いた様子であった。サマーフェアでは車両

「ハイブリット戦について」を聴講する参加者
ハイブリット戦の正しい定義と理解を促進するものであった。オピニオンリーダー等はそのアカデミックな内容に関心をもち、今後の情報発信の資とすることができた。

参加した。当初、学校の概況及び本シンポジウムの概要について説明を受け、



総監から募集功労賞を受賞した隊員



総監から第3級賞状を受賞する施設学校

関係部外団体と認識共有を図る 家族支援に関する連携会同

家族支援に関する連携会同

方面隊は7月14日、関係部外団体（自衛隊家族会及び隊友会）との家族支援に関する連携会同をテレビ会議システムにより実施した。

共有及び認識の統一を図るとともに、令和4年度自衛隊統合防災演習（04JXR）における関係部外団体との家族支援に関する教訓事項の共有を目的に実施した。会同では関係部外団体との家族説明に関する施策の説明、各都府県の家族支援推進状況、04JXRの成果及び

各部隊等における家族支援要領の紹介等が行われた。また各部隊からは家族への訓練成果ポスターの配布や、家族会・隊友会役員との家族支援調整会の実施等、工夫を凝らした家族支援要領の紹介が行われた。さまざまな施策を情報共有することにより、部隊の特性に応じて取り入れることができるため、家族支援協力態勢の強化に寄与した。

また各部隊からは家族への訓練成果ポスターの配布や、家族会・隊友会役員との家族支援調整会の実施等、工夫を凝らした家族支援要領の紹介が行われた。さまざまな施策を情報共有することにより、部隊の特性に応じて取り入れることができるため、家族支援協力態勢の強化に寄与した。

また各部隊からは家族への訓練成果ポスターの配布や、家族会・隊友会役員との家族支援調整会の実施等、工夫を凝らした家族支援要領の紹介が行われた。さまざまな施策を情報共有することにより、部隊の特性に応じて取り入れることができるため、家族支援協力態勢の強化に寄与した。

また各部隊からは家族への訓練成果ポスターの配布や、家族会・隊友会役員との家族支援調整会の実施等、工夫を凝らした家族支援要領の紹介が行われた。さまざまな施策を情報共有することにより、部隊の特性に応じて取り入れることができるため、家族支援協力態勢の強化に寄与した。

東部方面隊東桜会 30周年記念植樹式を支援

30周年記念植樹式を支援

東部方面総監部は7月28日、朝霞駐屯地において行われた東部方面隊東桜会主催東部方面隊東桜会創立30周年記念植樹式を支援した。

2年に設立された。令和2年度には創立30周年を迎えたものの、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言等により記念行事が延期されていた。この度、2年越しで開催した植樹式では、会長及び総監の挨拶に続き、記念樹木として選定した

早咲きで濃いピンクの花弁が特徴である「河津桜」の苗木に、役員14人が総監とともに土をかけた。各役員は「開催できたことに感謝し、10年後に再訪し、立派な桜を咲かせた姿を堪能したい」と感慨深げに喜びを語った。

早咲きで濃いピンクの花弁が特徴である「河津桜」の苗木に、役員14人が総監とともに土をかけた。各役員は「開催できたことに感謝し、10年後に再訪し、立派な桜を咲かせた姿を堪能したい」と感慨深げに喜びを語った。

早咲きで濃いピンクの花弁が特徴である「河津桜」の苗木に、役員14人が総監とともに土をかけた。各役員は「開催できたことに感謝し、10年後に再訪し、立派な桜を咲かせた姿を堪能したい」と感慨深げに喜びを語った。



テレビ会議システムで認識の共有を図る総監部 厚生課長

東部方面隊オピニオンリーダーを退任された方で構成された東部方面隊の部外協力団体であり、平成

この度、2年越しで開催した植樹式では、会長及び総監の挨拶に続き、記念樹木として選定した



苗木の前で記念撮影をする総監と会長



体験喫食を楽しむ来館者



女性自衛官教育隊を見学する来館者

「貴重な体験や見学ができた」「駐屯地や各部隊の活動や歴史を知ることができた」などの声があった。広報センターでは今後も各種イベントを準備し、引き続き募る期待している。

「貴重な体験や見学ができた」「駐屯地や各部隊の活動や歴史を知ることができた」などの声があった。広報センターでは今後も各種イベントを準備し、引き続き募る期待している。

「貴重な体験や見学ができた」「駐屯地や各部隊の活動や歴史を知ることができた」などの声があった。広報センターでは今後も各種イベントを準備し、引き続き募る期待している。

第1師団

大規模災害への備えを万全に

災害対処能力の維持・向上を図る

師団は6月20日から23日までの間、令和4年度自衛隊統合防災演習(04 JXR)に参加した。

本訓練では南海トラフ地震が発生した場合における師団の大規模震災対処に対する指揮・幕僚活動について演練し、災害対処能力の維持・向上を図った。また師団として南海トラフ地震に関する

訓練は約5年ぶりであり、この間、静岡県の隊区担任部隊が第1戦車大隊の部隊改編に伴って、第34

普通科連隊へ変更される等、師団担任地域内の担当部隊の変更があったことから、その運用に関する検証を重視して行った。

師団司令部は発災後、総監部が静岡県庁に開設した現地調整所へ要員を派遣した。

また司令部は、設想到より静岡県藤枝市総合運動公園(練馬駐屯地営庭

関連 4 5 面



静岡県藤枝市(設想)に師団前方指揮所を開設(練馬駐屯地)



発災直後の師団長への状況報告

中曽根防衛大臣政務官による部隊視察 1 偵戦大の部隊状況を確認



生活環境を確認する政務官

第1偵察戦闘大隊(大隊長 徳永2佐)は7月4日、朝霞駐屯地において中曽根防衛大臣政務官による部隊視察を受けた。当初、記念撮影、隊舎内で懇談等を行った後、作戦室において東方総監部防衛副長が方面隊の現状について報



ノーパンク自転車での都内移動を検証する1 普連の隊員



現地調整所での勤務状況(静岡県庁)



16MCVに試乗する政務官

告し、続いて1偵戦大の大隊長が部隊の現状について報告した。また1偵戦大に

関係する各施設巡視においては、生活環境を確認しつつ隊



チャレンジコインの交換

員を激励された。その後、保有する装備品を確認するとともに16式機動戦闘車(16MCV)の体験試乗を行った。最後に中曽根防衛大臣政務官と師団長がチャレンジコインの交換を行った。

第1回前任上級曹長集合訓練 地位、役割、心構えを再認識

師団は6月20日から24日までの間、練馬駐屯地

において令和4年度第1回前任上級曹長集合訓練を実施した。

本集合訓練は師団最先任上級曹長を担任官とし、各部隊の中隊等前任上級曹長及びその上番予定者

を対象として行った。訓練参加者は5日間にわたる訓練を通じて前任上級曹長の地位・役割及び心構えを理解するとともに、必要な各種知識の向上を図った。

第1回師団部隊相談員養成訓練 部隊の相談窓口となる隊員を養成

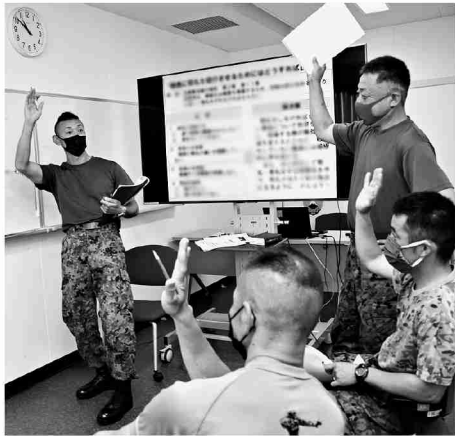
師団は7月4日から7日までの間、練馬駐屯地において令和4年度第1回部隊相談員養成訓練(予定者を含む)を実施

し、師団隷下部隊から25人が参加した。訓練ではメンタルヘルス施策、各種ハラスメント対処、傾聴の基本技法

を成長させていきたい」と今後の抱負を述べた。

個人的及び組織的ストレス対処法等を教育し、軽易な相談対応及び各種専門窓口への繋ぎが実施できる部隊相談員を養成した。

参加した第1師団司令部付隊の野田3曹は「さまざまなハラスメントごとに考え方が違ってくるので、仲間の不調や変化に気づき、心の支えになれるように、自分自身を成長させていきたい」と今後の抱負を述べた。



グループ討議を行う参加者



師団最先任上級曹長による教育



グループ実習の様子

試練を乗り越えレンジャー帰還



第1普通科連隊は6月26日、練馬駐屯地において令和4年度部隊集合教育「レンジャー」の帰還式を実施した。連隊長は各部隊、隊員家族等が見守る帰還式において、無事想定訓練を終えた18人に対し「レンジャーとはあらゆる厳しい環境で任務に臨まなければならない。確実に任務を果たし国民を守る」と訓示するとともに、レンジャーキ

第12旅団

第2次旅団訓練検閲

酷暑の東富士で真剣勝負

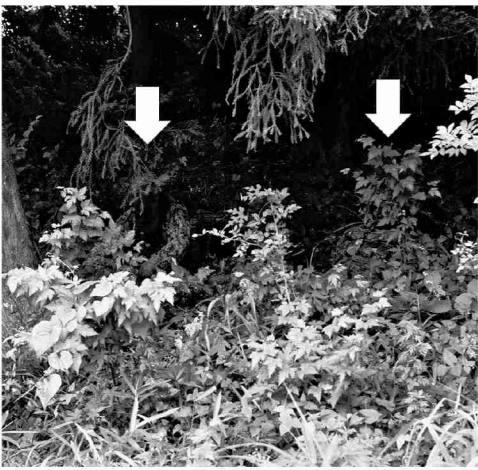
30普連・12ヘリ隊・12偵察隊が受閲



敵方に照準する30普連の隊員



警戒を実施する12ヘリの隊員



自然に溶け込み監視する12偵の隊員

旅団は6月28日から7月7日までの間、東富士演習場において第30普通科連隊、第12ヘリコプター隊及び第12偵察隊に対し、各職種部隊の作戦準備、戦闘に至る一連の行動を検し、訓練練度を評価するとともに、その進歩向上を促す目的で令和4年度第2次旅団検閲を実施した。

検閲に先立ち実施された開始式において統裁官

旅団長は「敵を意識せよ」「指揮の要訣の実践」「基本・基礎の確立」「安全管理・健康管理の徹底」の4点を要望するとともに、「一致団結し、平素の練成成果を遺憾なく発揮して、任務遂行を期待する」と隊員を鼓舞した。

本検閲は梅雨明け直後の猛暑に見舞われ、受閲部隊、対抗部隊ともに酷暑とも戦う厳しい環境の中、縦深にわたり幾重にも築かれた対抗部隊の陣地を30普連が攻撃した。また12ヘリ隊は緊急患者輸送や弾薬輸送などの任務を実施するとともに、展開地においては警戒を厳にし、敵の遊撃行動や航空攻撃に対処した。

12偵にあつては対抗部隊側に属し、生地を活用した警戒監視を実施するとともに、第一線地域においては広範多岐にわたる警戒監視網を構成し、各種敵情を的確に係部隊に提供することにより、侵攻する部隊を苦しめた。

旅団は本検閲の成果を今後の教育訓練に反映させ、部隊のさらなる精強

化を図る。

◎優秀隊員紹介◎

【第30普通科連隊】
2等陸尉 三田 真
准陸尉 川島 智洋
2等陸曹 伊佐 隆行
3等陸曹 高島 正弥
3等陸曹 齋藤 勇太
陸士長 寺本 桂人

【第12偵察隊】
2等陸曹 三木 淑生
2等陸曹 久保 浩然
3等陸曹 長野 隼治
3等陸曹 初芝 和希

【第12ヘリコプター隊】
3等陸尉 田中 真人
1等陸曹 下和佐 隼人
陸士長 後藤 海翔
陸士長 稲毛 通人

初動部隊の空中機動などを検証

旅団は6月20日から23日までの間、令和4年度自衛隊統合防災演習(04JXR)に参加し、南海トラフ地震対処計画を検証するとともに、指揮幕僚活動及び災害対処能力の維持・向上を図った。

旅団では実動訓練の一環として、初動対処部隊を第12ヘリコプター隊のCH-47に搭載し、相馬原駐屯地から航空自衛隊

浜松基地まで空中機動させる要領などを検証した(写真)。また幹部学校・富士学校から増強幕僚の支援を受け、その受け入れ要領や活動についても検証した。

旅団は本防災演習における教訓事項を取りまとめた後、南海トラフ地震対処計画の実効性をさらに向上させた。

職種のスペシャリストに向けて

7月に入り、旅団管内各部隊では自衛官候補生課程を修了した新隊員を受け入れ、それぞれの職種に合わせた特種教育を開始した。各教育隊は新隊員に対して段階的に教育訓練し、それぞれの職種に育つための基礎となる知識及び技能を修得させる。第12特科隊では7月1日、新隊員を受け入れ、特種教育を開始した。12特の特種教育では

砲班訓練(操砲)を主体に野戦特科の戦闘や火砲の整備など野戦特科部隊として必要な知識・技能を修得させるとともに、自衛官候補生課程で鍛えた基礎体力のさらなる向上のほか、闘争心・使命感など精神面の向上を図った。心身ともに磨きをかけ、教官・助教は新隊員を一人前の野戦特科隊員として部隊に送り出すため奮闘する。

12特で教育を受けている砲2士は「国家の安全のため戦い続けることができる強靱不屈の精神を身に付けたいと思います」と意気込みを語った。

困難を乗り越えさらなる高みへ 全ての任務を完遂し帰還



旅団長からレンジャーギ章を授与されるレンジャー学生

4月25日から実施していた令和4年度旅団レンジャー集合教育は、7月9日、全ての想定訓練を終え、参加隊員は高田駐屯地に帰還した。

今回の教育では、一部テレビ局の同行取材等を受け全国放映もされた。心を鬼にした教官助教による愛のある厳しい指導を受けつつ、基礎訓練においては体力及び各種技術を修得し、行動訓練においては昼夜を問わず不眠不休で山野を駆け回り任務達成にまい進した。



最終想定を終え満身創痍の中、最後の力を振り絞り駐屯地に帰還した26人のレンジャー学生たちは、隊員及び家族が見守る中、旅団長から一人一人レンジャーギ章を授与された。

晴れて念願のレンジャー隊員として認定された。

苦しい中、互いを励まし行進するレンジャー学生

本集合教育に学生長として参加した第2普通科連隊小野2曹は「困難な状況に直面した時、信頼できる仲間の大切さを感じた。今後はレンジャー隊員として道を示せるよう成長したい」とコメントした。

いちご一会とちぎ国体を支援 旅団長が栃木県知事と調印



7月11日、栃木県公館(栃木県宇都宮市)において実施された「いちご一会とちぎ国体における自衛隊の協力に関する協定書締結式・覚書交換式」に旅団長以下支援部隊長等が参加した。

式には栃木県知事をはじめ会場市町長が同席し、厳粛な雰囲気の中、県知事と旅団長により協定書が取り交わされ(写真)、引き続き会場市町長と支援部隊長との間で覚書が交換された。

協定書締結式において旅団長は「参加する選手が能力を最大限発揮できるよう、競技関係者との綿密な連携の下、大会の成功へ寄与し、全体的に夢や感動を与えることができるよう精一杯協力する」と力強く述べた。

いちご一会とちぎ国体は、10月1日から11日にかけて実施され、ボート、カヌー、馬術、銃剣道などの競技を自衛隊が協力・支援する。

旅団は6月20日から23日までの間、令和4年度自衛隊統合防災演習(04JXR)に参加し、南海トラフ地震対処計画を検証するとともに、指揮幕僚活動及び災害対処能力の維持・向上を図った。

旅団では実動訓練の一環として、初動対処部隊を第12ヘリコプター隊のCH-47に搭載し、相馬原駐屯地から航空自衛隊

浜松基地まで空中機動させる要領などを検証した(写真)。また幹部学校・富士学校から増強幕僚の支援を受け、その受け入れ要領や活動についても検証した。

旅団は本防災演習における教訓事項を取りまとめた後、南海トラフ地震対処計画の実効性をさらに向上させた。

職種のスペシャリストに向けて

7月に入り、旅団管内各部隊では自衛官候補生課程を修了した新隊員を受け入れ、それぞれの職種に合わせた特種教育を開始した。各教育隊は新隊員に対して段階的に教育訓練し、それぞれの職種に育つための基礎となる知識及び技能を修得させる。第12特科隊では7月1日、新隊員を受け入れ、特種教育を開始した。12特の特種教育では

砲班訓練(操砲)を主体に野戦特科の戦闘や火砲の整備など野戦特科部隊として必要な知識・技能を修得させるとともに、自衛官候補生課程で鍛えた基礎体力のさらなる向上のほか、闘争心・使命感など精神面の向上を図った。心身ともに磨きをかけ、教官・助教は新隊員を一人前の野戦特科隊員として部隊に送り出すため奮闘する。

12特で教育を受けている砲2士は「国家の安全のため戦い続けることができる強靱不屈の精神を身に付けたいと思います」と意気込みを語った。

第1施設団

東部方面総監初度視察

古河駐屯地の作戦基盤を確認

施設団及び古河駐屯地業務隊は6月30日、総監の初度視察を受けた。駐屯地に到着した総監

は、体育館において儀礼後、施設団作戦室において団長及び業務隊長から状況報告を受けた。隊内巡視においては、部隊の勤務庁舎、管理する施設等の状況、隊員の生活環境等、駐屯地の作戦基盤の充実への取り組みを視察した。

最後に駐屯地営庭において総監は、施設団に対し「仲西団長に代り、古河駐屯地を後にした。長年の統率のもと、全員の団の地位・役割を深く認識し、また、令和4年度の特性を踏まえつつ即応態勢の充実・作戦遂行能力の向上・作戦基盤の充実を図り、一致団結して任務遂行・隊務運営にまい進することを期待する（要旨）」と訓示し、古河駐屯地を後にした。



総監による巡閲



総監に対する状況報告



隊内巡視をする総監

新隊員後期教育開始 施設特技の練磨に邁進



サービスの宣誓をする新隊員（第4施設群）



教育隊旗を授与する新隊員（第5施設群）

施設団は7月4日から第4施設群（座間駐屯地）及び第5施設群（高田駐屯地）の各駐屯地において、令和4年度3・4月に入隊した新隊員特技課程後期（施設）及び一般陸曹候補生課程後期（施設）教育を開始した。

これらの後期教育等には第4施設群で43人、第5施設群で27人の新隊員が参加し、約3カ月間の期間で、施設基礎作業である重材料運搬・土工・木工・渡河・基礎破壊等を実施し、施設隊員に必要な知識・技能の修得を目指す。新隊員は教育間、同期と助け合い、切磋琢磨し互いの絆を深めるとともに、配属部隊で活躍できる立派な施設科隊員に成長するため精励していくこととなる。

働きやすい職場環境構築へ 女性活躍・WLB推進意見交換



車座になり施策を発表しあう参加隊員

関東東は6月30日、霞ヶ浦駐屯地において令和4年度駐屯地女性活躍及びワークライフバランス（WLB）推進に関する意見交換を実施した。本事業は駐屯地所屬隊員から勤務環境や仕事と生活、育児などの調和に関する意見を交換し、業務改善及び施設等の充実を図ることを目的として、各部隊から男女1人ずつ

が参加し行われた。隊員からは「育児では役割を分担せず、そのときに対応できる人が行う」「家族記念日等のカレンダーを作成してもらいたい」「イベントの見える化」で休暇取得を促進させている。男性職員が妻の産前産後期間中に取得できる特別休暇、Child Care 7の周知と100パーセントの取得

率を目標としている。個人及び部隊で実施している取り組みが発表され、「他部隊の職場環境を知りたい」との感想も聞かれた。関東東は今後も継続した部隊間の情報交換の機会を設け、より一層働きやすい勤務環境構築の資



入会促進に大きく貢献

隊友会が駐屯地司令に感謝状を伝達した（写真）。なお感謝状は本部庁舎1階にあるショーケース内に展示されており、誰でも見ることができるとのこと。

霞ヶ浦駐屯地は7月5日、隊友会本部から「隊友会員の入会促進に対する協力」の功績により、感謝状を受賞した。駐屯地は年間を通じ、定期的に定年退職者に対する隊友会説明会の開催や、駐屯地朝礼等において、隊友会員の功績を伝える活動を行っている。伝達式当日は茨城県隊友会長、事務局長、石岡、つくば支部長及び土浦副支部長の5人が来隊し、隊友会長が駐屯地司令に感謝状を伝達した（写真）。なお感謝状は本部庁舎1階にあるショーケース内に展示されており、誰でも見ることができるとのこと。

関東補給処

自衛隊統合防災演習

大規模震災対処要領を演練

関東東は6月20日から23日までの間、霞ヶ浦駐屯地等において令和4年度自衛隊統合防災演習（04JXR）に参加した。本演習において関東東は、南海トラフ地震対処計画の具体化に資するため①大規模震災対処にお

ける基本的な指揮幕僚活動②兵站組織間の業務運営に係る連携の2点を重視し、各種システム（クローズドクラウドシステム等）機能を最大限活用した指揮所活動と、総監部装備部、方面兵站基地（MA）、富士地区への方

面前進兵站基地（FMA）及び静岡・浜松地区への前方支援地域（FSA）等における業務運営に係る連携を演練し、兵站の実効性向上を図ることを目的に演習に臨んだ。これに先立つ6月13日から19日までの間には、朝霞駐屯地において実施された東部準備訓練（ゲーマー要員等）を差し出し、準備を万全にして効率的な演習統制に寄与した。

「6月20日午前8時40分頃、遠州灘を震源とする最大震度7の地震発生、これに続く津波の発生により、静岡県を中心とした地域に甚大な被害が発生した」という想定のもと、関東東は計画に基づき、速やかに総監部への連絡要員（LO）を派遣するとともに、指揮所を開設して指揮幕僚活動を実施した。また駐屯地体育館において、富士地区での展開を想定したFMA指揮所の開設を行い支援態勢を確立したほか、各部隊員が各自の役割を担い、感謝状を受賞した。

霞ヶ浦駐屯地は7月5日、隊友会本部から「隊友会員の入会促進に対する協力」の功績により、感謝状を受賞した。駐屯地は年間を通じ、定期的に定年退職者に対する隊友会説明会の開催や、駐屯地朝礼等において、隊友会員の功績を伝える活動を行っている。伝達式当日は茨城県隊友会長、事務局長、石岡、つくば支部長及び土浦副支部長の5人が来隊し、隊友会長が駐屯地司令に感謝状を伝達した（写真）。なお感謝状は本部庁舎1階にあるショーケース内に展示されており、誰でも見ることができるとのこと。

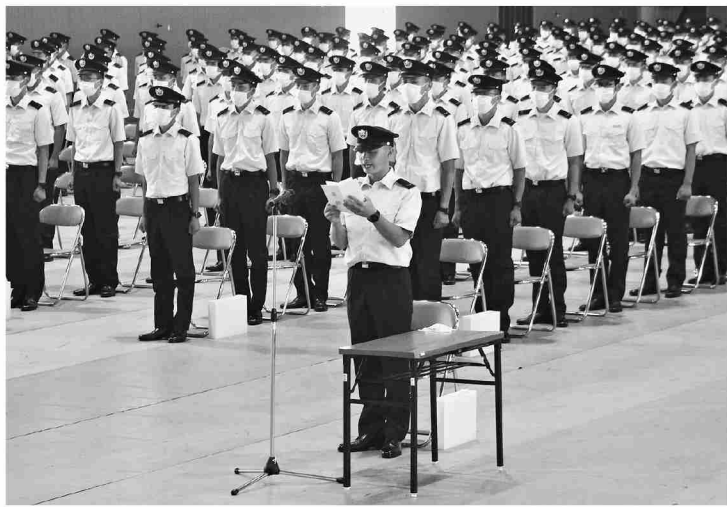
隊友会より感謝状受賞している。令和3年度には茨城県内において、29人中19人が退官日に即日入会するなど、その実績も評価された。

フォロー募集中
EBS
【YouTube】 【Twitter】

霞ヶ浦駐屯地公式ホームページ
https://www.mod.go.jp/gsdf/eae/eadep
Twitter
フォロー募集中!!
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地公式
CampKasumigaura

混成団

新隊員前期教育修了 後期部隊へ 新たな一步を踏み出した新隊員



答辞を述べる渡邊 2 士

第1-7教育大隊は6月29日、武山駐屯地において、第18期一般曹候補生課程(前期)の卒業式を東部方面シテム通信群の撮影及び第12音楽隊の演奏支援を受け実施した。

大隊長は約3カ月間にわたり自衛官としての基礎となる教育訓練を、同期一丸となって乗り越えた新隊員たちのたくましく成長した姿と積み重ねた日々の努力を称えた。また「ここで築いた『同期の絆』はかけがえのない一生の財産でありこれから大切にしてもらいたい」と式辞を述べ、新隊員の門出を祝した。また新隊員の代表として指揮者を務めた渡邊2士(中)即連 宇都宮は答辞の中で「教育要員に対する感謝の気持ち」と「国民に信頼される立派な自衛官になれるよう、より一層精進努力する決意」を述べた。

卒業式後、教官・助教をはじめとする教育に関わった方々へ感謝の気持ちを伝えるため、新隊員は一丸となってパレードを実施し、教官、助教は激励の言葉をかけつつ見送った。



感謝の気持ちを伝えるパレード

新隊員は7月1日付をもって、北は北海道、南は大分の各職種部隊で実施される後期教育の地へ、同期との思い出を胸に抱きつつ旅立った。

新隊員のこれからのさらなる成長と活躍を期待する。

立川駐屯地

自衛隊の理解促進を図る 防衛・駐屯地モニター研修

立川駐屯地は7月21日、立川駐屯地及び東立川駐屯地において防衛及び駐



地図作成要領を研修するモニター

航空機体験搭乗を行い、主力航空機であるUH-1Jの機動を体感するとともに駐屯地周辺空域を飛行し、飛行場の特性について理解を深めた。

午後は東立川駐屯地に移動し、地理情報隊の研修を行った。地理情報隊は地図・画像等に関する専門技術及び地誌に関する専門的知識を持つ部隊である。研修は部隊紹介から始まり、防衛地理記念室での歴史的な展示物のほか、現在行われているデジタル的な地図作成要領を研修した。研修者は地図が作成されるまで

の多くの作業工程と専門的な機材及び隊員の業務を目的のあたりにし、各工程でひっきりなしに質問をしていた。

約1日かけて行われた研修を終えた参加者の関心は高く「自衛隊について、知らないことがばかりでした」など、たくさんの意見があった。

駐屯地は今後も他駐屯地等と連携を強化して、自衛隊の魅力や意義を伝えるとともに、地域住民及び国民の方々に信頼される駐屯地となるために尽力していく。

酷暑の中 教育開始！

新隊員特技課程 一般曹候補生課程後期教育



シ通群の隊員に迎え入れられた新隊員



無線機操作訓練を行うシ通群の新隊員

シ通群 東部方面シテム通信群は7月1日、新隊員出迎え行事を実施し、4日、令和4年度新隊員特技課程及び一般曹候補生課程後期教育を開始した。本教育では基本ネットワーク課程33人の新隊員に対し、陸上自衛隊の通信科隊員として必要な基礎的事項を修得させるため、シ通群の他、関東補



射撃予習を行う会計隊の新隊員

給処、第12通信隊からの支援教官等が活模範となり、親身に教育を実施している。

出迎え行事では武山、新町、下志津、大宮、北富士、朝霞から着隊した隊員を群の大勢の隊員があたたく出迎え、通信科隊員としての第一歩を祝福した。

群長は教育入隊式において、何事にも正面から向き合い、同期と切磋琢磨し、着実に練度を向上させ



体力検定に臨む会計隊の新隊員

せている。

群は引き続き、陸上自衛隊の指揮・統制の命脈を担う強靱な隊員を育成していく。

1日から朝霞駐屯地において、第33期新隊員後期課程「会計科」教育を実施中である。本教育は18人の新隊員に対し、方面会計隊副隊長を新隊員教育隊長として、11人の基幹要員をもって行っている。

会計隊

東部方面会計隊は7月

7月5日に実施された入隊式で方面会計隊長は新隊員に対し「われわれは限られた人員と予算、装備の中であらゆる部隊のニーズに合規適正に 대응、会計支援任務を完遂することが求められる」と式辞を述べたほか「陸上自衛官であり、かつ会計科隊員であることを自覚せよ」「同期隊員の人格を尊重し、絆を深めよ」の2点を要望した。

新隊員は会計科隊員としての基礎的知識及び技能を修得するため、日々勉学に励むとともに、自衛官としての気力・体力の増進を追求していく2カ月間の教育に臨んでいる。

方面会計隊は、陸上自衛隊会計科職種の将来を支える隊員を情熱と愛情をもって育成する。

地方協力本部 特色生かし募集広報

神奈川 市が尾駅に「はまにゃん」登場



高校生の注目を集めた「はまにゃん」

自衛隊神奈川地方協力本部市ケ尾募集案内所は7月4日、募集案内所の最寄り駅である東急電鉄田園都市線「市が尾駅」の西口広場に募集広報活動を行なった。

本活動は6月24日から実施している神奈川地方

自衛隊の夏服に身を包んだ市ケ尾所の所長と広報官たちは、帰宅途中の

ある！ある！自衛隊

byともえ

高校生たちに積極的に声を掛けをし、自衛隊をPRした。「はまにゃん」効果もあってか、足を止めてくれる学生たちへ、自衛隊の職種は多岐にわたる、パイロットへの道や海外勤務や国際的な活躍ができること、自身の適性を踏まえた勤務が考慮されること、男女格差がない給与体系及び福利厚生も充実していること等、具体的な例を示しての説明に努めた。ある高校生からは「管理職に興味があります。防衛大学校を受験してみたいです」との申し出があり、後日事務所にて説明することになった。また就活中の人には、中途採用を実施していることを案内し、ワークライフバランスや産

茨城 商業施設で柔剣道

自衛隊茨城地方協力本部龍ヶ崎地域事務所は6月25日・26日の両日、茨城県守谷市にある大型商業施設において「自衛隊広報展」を開催した。

今回の広報展は軽装甲機動車、小型トラックの展示のみならず、武器学校(土浦駐屯地)格闘指

導官による格闘展示及び銃剣道の実演も披露した。また航空自衛隊百里基地のマスケットキャラクター「ひゃくりん」も登場し、会場は大いに盛り上がりを見せた。

募集ブースには自衛隊に興味を持ってくれた学生や保護者の方々が多数



大歓声を受けた銃剣道実演

休・育休の制度が整っていることもアピールした。市ケ尾募集案内所は「事務所のある地元駅前での広報活動は、自衛隊のPR及び自衛官の仕事への理解を深める貴重な時間であった。『はまにゃん』の登場もあり、学生たちが自衛隊に興味を持つきっかけとなってくれた。今後も地域に根付いた広報活動を継続し、志願者獲得を進めていきたい」としている。

静岡 買い物帰りにふれあい

自衛隊静岡地方協力本部は7月2日・3日の両日、アピタ静岡店静岡市で広報活動を行った。

訪れ「迷彩服を着てみたい」「格闘展示に圧倒されました」など、さまざまな感想をいただき、広報展は大盛況のうちに終了した。

龍ヶ崎地域事務所は今後も自衛隊広報展などの広報イベントを開催し、



体験型の展示に興味を示す来場者

訓練所感

東部方面音楽隊
3等陸曹 小沼 夏乃

育児休業を取得し約1年ぶりに4月から職務に復帰しました。それと同時に演奏会企画係に就くことになりました。

まず始めの業務は、6月に開催される第78回定期演奏会のプログラムを作成することで

育児休業を取得し約1年ぶりに4月から職務に復帰しました。それと同時に演奏会企画係に就くことになりました。

まず始めの業務は、6月に開催される第78回定期演奏会のプログラムを作成することで

仕事と子育ての両立

由時間が少しできず、自衛隊の訓練を終えた夕方以降に帰宅することがあったため、夕方は夫に子どもを任せて業務に集中することができました。楽器の演奏はもちろん今回の定期演奏会ではヴォーカルも担当することに

たが、復帰前と違うのは家庭の環境です。家庭も仕事もこなそうとなると何かしらの工夫が必要だと考え、私たちが夫婦は基本的に私が保育園の送り、夫が迎えというように分担することにしました。

育児休業を取得し約1年ぶりに4月から職務に復帰しました。それと同時に演奏会企画係に就くことになりました。

まず始めの業務は、6月に開催される第78回定期演奏会のプログラムを作成することで

たため、その練習時間も確保することができました。定期演奏会に向けて勤務し感じたことは、家庭の環境や状況はそれぞれ違い大変なことかもしれませんが、中でも、家庭の形にあって育児と仕事の両立を見つけていき協力し合うことが大切だということでした。

家庭の土台をしっかりと作ることで、職務に専念することにも繋がってくると思います。夫がいてくれたおかげで家事全般を任せ、安心して過ごすことができました。子どもの世話も一通りできるようになりました。申請により取得可能なものは、やはり職場の理解が重要です。私の職場では男性隊員がChild Care 7や育児休業を取得することも増えてきました。私の夫もChild Care 7と約1カ月間、育児休業を取得しました。

私は帝王切開ということもあり特に産後1カ月は自分の身体の回復が遅く思うように動けなかったのですが、夫がいてくれたおかげで家事全般を任せ、安心して過ごすことができました。子どもの世話も一通りできるようになりました。申請により取得可能なものは、やはり職場の理解が重要です。私の職場では男性隊員がChild Care 7や育児休業を取得することも増えてきました。私の夫もChild Care 7と約1カ月間、育児休業を取得しました。

私は帝王切開ということもあり特に産後1カ月は自分の身体の回復が遅く思うように動けなかったのですが、夫がいてくれたおかげで家事全般を任せ、安心して過ごすことができました。子どもの世話も一通りできるようになりました。申請により取得可能なものは、やはり職場の理解が重要です。私の職場では男性隊員がChild Care 7や育児休業を取得することも増えてきました。私の夫もChild Care 7と約1カ月間、育児休業を取得しました。

地域の方に自衛隊を身近に感じてもらえるよう活動していく。

本活動は第34普通科連隊の協力を得て、店内イベントスペースに災害派遣などの際に使用している天幕(テント)と簡易ベッド、屋外スペースに小型トラックと軽装甲機動車を展示したほか、本物の南極の水に触れるコーナーやブルーインパールのパイロット気分を味わえるVR体験、子ども向けの迷彩服試着やぬり絵、紙飛行機作成コーナーなどを設けた。

会場には家族連れが多く訪れ、商業施設に突然現れた自衛隊の姿に驚きつつも「市内のイベントで自衛隊の展示を見たことがありません」「清水に入港した船を見に行きました」と親しみを感じている様子でした。

子どもたちは体験できる展示に興味津々な様子

展示を見学した家族は「買い物に来たら自衛隊がいてびっくり。子どもも楽しんで良かった」「災害派遣について知ることができた」と満足した様子でした。

静岡地本は今後も地域の方に親しみを感ずてもらえるよう、さまざまな場所で広報活動を行っていく。

隊員自主募集ご協力のお願い

令和4年度自衛官採用案内

平和を、仕事にする。 自衛隊 募集案内

種目	資格	受付期間	試験期日
一般書候補生	18歳以上33歳未満の者	7月1日～9月5日	1次:9月15日～18日 2次:10月8日～23日 ※いずれか1日を指定されます。
航空学生	海:18歳以上23歳未満の者 空:18歳以上21歳未満の者	7月1日～9月8日	1次:9月19日 2次:10月15日～20日 3次:(海)11月18日～12月14日 (空)11月12日～12月15日
防衛大学校学生	推薦	9月24日～25日	1次:9月24日 2次:10月29日～30日
	総合選抜 一般	7月1日～10月26日	1次:11月6日～6日 2次:12月6日～10日
防衛医科大学校学生	医学科	7月1日～10月12日	1次:10月22日 2次:12月14日～16日
	看護学科 (自衛隊看護学校学生)	7月1日～10月6日	1次:10月15日 2次:11月26日～27日

※自衛官候補生は、年間を通じて受付をしています。高等工科大学校生は10月1日受付開始です。

隊員自主募集による表彰

賞状	表彰条件	授与記念章
第3級	①昨年度で5名入隊、②2年連続4名入隊、③3年連続3名入隊、④累計で15名入隊	
第4級	①昨年度で3名入隊、②2年連続2名入隊、③累計で10名入隊	
第5級	昨年度で1名入隊	

隊員自主募集カードを全隊員に配布中

人を守る、という、やりがい。

隊員自主募集

最先任 上級曹長

「One for all All for one」 第103補給大隊 渡辺 重広 陸曹長

令和4年8月1日付
で、第103補給大隊第
3代最先任上級曹長に上
番した渡辺曹長です。第
103補給大隊は、霞ヶ
浦駐屯地に所在する東部
方面後方支援隊隷下の補
給担任部隊であり、即応

予備自衛官招集
訓練を行うコア
部隊です。「常即
一体」をモット
ーに、大隊長の
要望事項である「一致団
結」「歩前進」を具現化
するため、私は34年間続

ての感想は？
システム運営手として
勤務し、ネットワーク器
材の設定等を行っていま
す。繋がらなかった器材
に対して原因を探して繋
がるようにすることは思
ったより大変なことだ
と感じています。自分
が、やりがいを感じて
いることができます。

Q3・休日の過ごし方
は？
ショッピングモールで
服を買ったりSNSで見
つけたおもしろい動画
などを観たりしています。
Q4・今後の目標は？
今年中に国家資格であ
る基本情報技術者試験を
受けて合格し、通信に関
する知識を広げること
です。また来年度に受検す
る陸曹候補生試験に向け
けるように現状維持に満
ちるよう努めています。

Q5・最後に一言
陸曹になりたいと強く
思ったきっかけは、女性
自衛官教育隊でお世話に
なりました。自分理想と
する女性自衛官は、今も
からもその時の先輩方
です。少しでも理想に近
づくように現状維持に満
ちるよう努めています。

自身を変えることなく
部隊のために准曹士の風
通しを良くして、指揮官
に対して良好な下意上達
ができるよう、精進して
いく所存であります。

創隊5年目の駆け出し
部隊ではありますが、日
々の成功や失敗から得た
教訓を継承し、部隊の伝
統を築き上げ精進に寄
与していきたいと考えて
います。

この記事を機に東部方
面後方支援隊第103補
給大隊をお見知り置き下
さい。



員個々の性格・性質はさ
まざまであり、誰もが得
手・不得手を持っていま
す。得手の部分は部隊の
ために発揮してみんなを
フォローし、不得手の部
分はみんなが補ってフォ
ローしていくことによ
り、目的のために一丸と
なっていくことができます。
後退することもあるかも
しませんが、後退した分
以上に前進し、トライ
（任務完了）を目指して
いきます。青春ドラマの
ようにうまくいかないか
もしれませんが、「信は力
なり」をモットーに自分

予備自衛官 静岡地方協力本部 丸山 瑠理花 陸士長

私は一般公募予備自衛
官補採用後、50日間の訓
練を経て、平成26年9月
に予備自衛官に任用され
ました。
現在は父が営んでいた

武術道場の女門太極武藝
館二代目宗師として跡を
継ぎ、伝統武藝の指導と
後進の育成を行いなが
ら、自衛隊の訓練に出頭
しています。

解しやすいよう細部まで
工夫されており、予備自
衛官として必要なことと相
違わないことです。
私自身も入隊したこと
で日常生活が変わりまし
た。効率の良い整理整頓、
靴磨き、ちょっとした口
ブワーク、時間前行動
など、身につける生活に
役立つことばかりで、訓
練を共にした仲間も同じ
感想を持っていました。

「父の背中を追いかけて」 第12通信隊 渡辺 姫菜 1等陸士

今月のフェアレディは、
第12通信隊に所属する
渡辺 姫菜（ひな）1士で
す。群馬県榛東村出身の
渡辺1士は、令和3年4
月に入隊、10月に第12通
信隊システム管理班に配
属となり、システム運営
手として日々訓練に励ん
でいます。

Q1・自衛隊に入隊した
きっかけは？
父親が自衛官で一番身
近に感じた職業であり、
テレビで国民のために汗
を流して活躍する自衛官
の姿に憧れて入隊を決意
しました。

Q2・現在の職務につい
ての感想は？
システム運営手として
勤務し、ネットワーク器
材の設定等を行っていま
す。繋がらなかった器材
に対して原因を探して繋
がるようにすることは思
ったより大変なことだ
と感じています。自分
が、やりがいを感じて
いることができます。

Q3・休日の過ごし方
は？
ショッピングモールで
服を買ったりSNSで見
つけたおもしろい動画
などを観たりしています。
Q4・今後の目標は？
今年中に国家資格であ
る基本情報技術者試験を
受けて合格し、通信に関
する知識を広げること
です。また来年度に受検す
る陸曹候補生試験に向け
けるように現状維持に満
ちるよう努めています。

Q5・自分のアピールポ
イントは？
私のモットーは「笑顔
絶やさず」であり、明る
い職場の雰囲気作りを心
掛けています。仕事もプ
ライベートも楽しく充実
出来るのが一番です。

Q6・今後の目標は？
さらなる知識、体力向
上を目指すとともに、周
りから信頼される陸曹にな
れるよう、自身のみならず
後輩育成にも力を入れて
日々精進していきます。

無線通信陸曹として任
務にまい進する石山3曹
の今後の活躍に期待した
い。



「笑顔絶やさず」 第1飛行隊 石山 翔太 3等陸曹

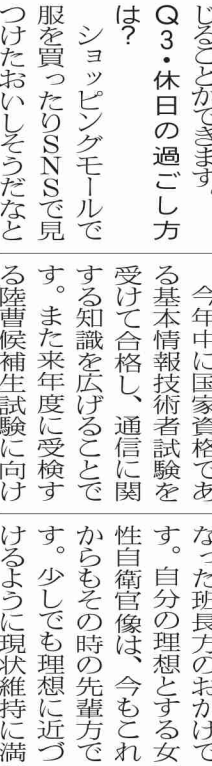
今月の東方男児は、第
1飛行隊に配属する石山
3曹です。
石山3曹は平成28年3
月、練馬駐屯地に教育入
隊し、立川駐屯地に所在
する第1飛行隊に配属と
なり、無線通信陸曹とし
て勤務しております。

Q1・自衛隊に入隊した
きっかけは？
両親が自衛官だったこ
ともあり、幼い頃から防

隊通信の構成、維持、運
営を行っています。また
災害派遣など有事の際は
自衛官への憧れが募り、
自然と志していました。
Q2・航空科を選んだ理
由は？
新隊員教育時に見たU
H-1Jの編隊飛行に一
目惚れし、私も航空機に
携わる仕事がしたいと思
い航空科を希望しまし
た。

Q3・現在の職務は？
主に通信陸曹として部
隊通信の構成、維持、運
営を行っています。また
災害派遣など有事の際は
自衛官への憧れが募り、
自然と志していました。
Q4・休日の過ごし方
は？
課外は子どもの習い
事のお迎え等を行い、休
日は家族と過ごすことが
楽しみです。特にショッ
ピングセンターで買い物
をしたり、子どもと一緒
に近くのグラウンドでサ
ッカーを楽しんでいます。
Q5・自分のアピールポ
イントは？
私のモットーは「笑顔
絶やさず」であり、明る
い職場の雰囲気作りを心
掛けています。仕事もプ
ライベートも楽しく充実
出来るのが一番です。

Q6・今後の目標は？
さらなる知識、体力向
上を目指すとともに、周
りから信頼される陸曹にな
れるよう、自身のみならず
後輩育成にも力を入れて
日々精進していきます。



Q1・自衛隊に入隊した
きっかけは？
両親が自衛官だったこ
ともあり、幼い頃から防

隊通信の構成、維持、運
営を行っています。また
災害派遣など有事の際は
自衛官への憧れが募り、
自然と志していました。
Q2・航空科を選んだ理
由は？
新隊員教育時に見たU
H-1Jの編隊飛行に一
目惚れし、私も航空機に
携わる仕事がしたいと思
い航空科を希望しまし
た。

Q3・現在の職務は？
主に通信陸曹として部
隊通信の構成、維持、運
営を行っています。また
災害派遣など有事の際は
自衛官への憧れが募り、
自然と志していました。
Q4・休日の過ごし方
は？
課外は子どもの習い
事のお迎え等を行い、休
日は家族と過ごすことが
楽しみです。特にショッ
ピングセンターで買い物
をしたり、子どもと一緒
に近くのグラウンドでサ
ッカーを楽しんでいます。
Q5・自分のアピールポ
イントは？
私のモットーは「笑顔
絶やさず」であり、明る
い職場の雰囲気作りを心
掛けています。仕事もプ
ライベートも楽しく充実
出来るのが一番です。

Q6・今後の目標は？
さらなる知識、体力向
上を目指すとともに、周
りから信頼される陸曹にな
れるよう、自身のみならず
後輩育成にも力を入れて
日々精進していきます。

無線通信陸曹として任
務にまい進する石山3曹
の今後の活躍に期待した
い。

編集後記

夕暮れ時の駐屯地、迷彩服でママ
チャリを必死に走らせる隊員。お迎
えでござった返す保育園に到着し、小
さな怪獣を今日も一日無事に預かり
見守ってくれた先生と、遊んでくれ
たお友達、保護者の皆さんに感謝
し、丁寧に挨拶をする。
迷彩を着ているだけで「仕事大変そう
だ」といふ声もあがり、「がんば
って」と声をかけられることもあれば、
どんなに親しくしたくとも何となく距離
を置かれることもある。子の成長とも
に変わっていくコミュニティの中で、迷
彩服に違和感を感じる人も、中にはい
るということを知った。

駐屯地を出ると、迷彩服を見る人々の
感情は百人百様かもしれない。少なくと
も身に纏っているときは自衛官として、
国民の期待を裏切らない振る舞いを心掛
けたい。

整頓」という私たちが日
常生活に必要なことと相
違わないことです。
私自身も入隊したこと
で日常生活が変わりまし
た。効率の良い整理整頓、
靴磨き、ちょっとした口
ブワーク、時間前行動
など、身につける生活に
役立つことばかりで、訓
練を共にした仲間も同じ
感想を持っていました。